

# 仙北市学校適正配置に関する提言書

今後の市内小中学校の適正配置について、市民の代表12人で構成される「学校適正配置検討委員会」から提言をいただきます。その概要をお知らせします。

なお、提言書の全文は、市ホームページに掲載しています。

## 1 仙北市の現状

平成28年5月現在の児童生徒数は、1785人（児童数1170人、生徒数615人）。急速な少子化により、市町村合併時（平成17年度）と比較して、小学校数が3校減少、小学校児童数が986人の減少、中学校生徒数が277人の減少となっている。

平成34年度の推計で小学校児童数902人（平成28年比268人減）、生徒数414人（平成28年比201人減）となっていて、児童生徒数は今後も減少することが予想される。

また、平成28年度は小学校2校が複式学級（内1校は複式学級が2学級）となっていて、このような状況は今後も継続することが予想される。

## 2 学校と地域の関わりについて

（1）学校は、児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有し、防災、子育て、地域の交流の場など、様々な機能を併せ持ち、地域の宝であり、活力の源にもなっている。学校の適正配置に当たっては、このような地域の思いや地域に果たす学校の役割、機能も十分に考慮して検討する必要がある。

（2）学校教育は、地域の未来の担い手である子供たちを育む営みでもある。地域をどうするか、このような子供たちの将来の雇用の場の確保や定住促進などの「まちづくり」の在り方の観点からの議論も必要である。

（3）学校は、地域の人的・物的資源

等を教育活動に取り入れることにより活性化し、子供たちが地域行事に積極的に参加したり、様々な役割を担ったりすることにより地域に活気と賑わいをもたらしている。このような地域と学校との交流・連携は、学校適正配置後もしっかりと継続し、よりよい関係を構築していく必要がある。

## 3 具体的な検討のタイミング

学校は、地域のコミュニティの核であり、地域の宝、活力の源であり、できるだけ地域に学校を存続させたいというのが委員会の総意である。しかし、次のような状況においては、子供たちの健やかな成長を願い、学校適正配置の具体的な検討に入ることもやむなしと考える。

### 【統合の検討に入るべき状況】

- ① 小学校においては、継続して複式学級が発生し、かつ全校児童数が50人を下回ることが予想される場合
- ② 中学校においては、学年内に複数

# 仙北市学校教育に関するアンケート調査結果

仙北市教育委員会では、よりよい学習環境や生活環境を整備し、今後の学校教育を充実させていくためにアンケート調査を実施し、その結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

なお、アンケート結果の詳細は、市ホームページに掲載しています。

## 調査対象等

対象者	対象数	回収数	回収率
市民	2,000	808	40.4%
保護者	1,595	1,352	84.8%
児童・生徒	424	413	97.4%

※市民 保護者以外の18歳以上の市民（抽出）  
 ※保護者 保育園、幼稚園、小・中学校の保護者（全員）  
 ※児童・生徒 市内小学校6年生・中学校3年生（全員）

## 学校教育に望むこと（上位3項目）

回答項目	市民	保護者	児童・生徒
基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける教育	16.1%	17.6%	51.3%
マナーや社会のルールを身に付ける教育	17.8%	16.9%	35.6%
集団の中で表現力やコミュニケーション能力を育てる教育	11.3%	18.0%	32.2%

## 学校について、心配に思っていること（上位3項目）

回答項目	市民	保護者	児童・生徒
児童生徒一人一人に目が行き届き、きめ細かな指導が行われているか心配	14.9%	24.9%	
豊かな人間関係や多様な集団形成が図られやすい環境になっているか心配	18.0%	18.8%	
集団の中で多様な考えに触れ、協力し合ったり切磋琢磨したりする学習が行われているか心配	13.1%	9.2%	

## 学校の統合について

### ① 小学校

回答項目	対象別			地区別（数値は、市民・保護者・児童の合計の割合）							
	市民	保護者	児童	角館・雲沢地区	中川地区	白岩地区	生保内・田沢地区	神代地区	西明寺地区	桧木内・上桧木内地区	
統合する必要がある	8.9%	5.5%	38.5%	9.7%	11.8%	9.0%	4.1%	7.5%	15.9%	17.9%	
状況によっては統合する必要がある	43.4%	45.1%		46.5%	44.8%	48.9%	30.1%	31.1%	48.4%	43.7%	
統合する必要はない	29.6%	34.6%	54.5%	28.2%	31.6%	30.1%	47.8%	46.4%	22.4%	27.2%	
よく分からない	14.6%	12.9%	7.0%	13.5%	10.5%	10.5%	15.3%	12.7%	11.5%	9.3%	
無回答	3.5%	1.9%	0.0%	2.1%	1.3%	1.5%	2.7%	2.3%	1.8%	1.9%	

### ② 中学校

回答項目	対象別			地区別（数値は、市民・保護者・生徒の合計の割合）				
	市民	保護者	生徒	角館・中川・白岩・雲沢地区	生保内・田沢地区	神代地区	西明寺地区	桧木内・上桧木内地区
統合する必要がある	9.8%	6.7%	22.5%	6.1%	5.0%	8.0%	22.4%	25.0%
状況によっては統合する必要がある	39.2%	34.5%		30.9%	28.6%	31.9%	47.8%	39.9%
統合する必要はない	32.1%	41.8%	67.6%	45.3%	47.8%	43.5%	16.9%	22.3%
よく分からない	14.2%	15.0%	9.9%	14.8%	15.4%	14.6%	11.8%	10.8%
無回答	4.7%	2.0%	0.0%	2.9%	3.2%	2.0%	1.1%	2.0%

問合せ 仙北市教育委員会 北浦教育文化研究所 ☎43-3387



の学習グループを構成することができない状況が継続することが予想される場合  
 具体的には、1学年1学級の学校で、継続して全ての学級の人数が15人を下回り、かつ全校生徒数が45人を下回ると予想される場合  
 ③上記①、②に該当しない場合であっても、近隣の学校への就学指定校変更を希望する傾向が顕著に表れてきた場合